Billing System

ビリングシステム株式会社

2011年12月期 決算説明資料

2012年2月27日
代表取締役社長　江田敏彦

Copyright 2012 Billing System Corp

目次

1　会社概要

1.1 会社概要　・・・・　P. 3

2　事業概要

2.1 決済ﾌﾟﾗｯﾄﾌｫｰﾑと基本ｻｰﾋﾞｽの内容　・・・・　P. 5
2.2 業界競合と当社の狙うポジション　・・・・　P. 6
2.3 当社の事業コンセプト　・・・・　P. 7
2.4 業務受託の業績推移　・・・・　P. 8
2.5 決済基盤事業の運営状況　・・・・　P. 9

3　2010年12月期 決算概要

3.1　2010年12月期決算総括　・・・・　P.11
3. 2 主要トピックス　・・・・　P.12
3. 3 損益計算書の概要　・・・・　P.14
3. 4 業績の推移　・・・・　P.15
3. 5 売上構造　・・・・　P.16
3. 6 業務受託月別売上推移　・・・・　P.17
3. 7 サービス別売上推移　・・・・　P.18
3. 8 収益構造　・・・・　P.19
3. 9 コスト構造　・・・・　P.20
3.10 販売管理費内訳　・・・・　P.21
3.11 貸借対照表の概要　・・・・　P.22
3.12 ｷｬｯｼｭ･ﾌﾛｰ計算書の概要　・・・・　P.23

4　2011年12月期計画

4.1　2011年12月期のポイント　・・・・　P. 25
4.2　2011年12月期の施策　・・・・　P. 26
4.3　2011年12月期業績見通し　・・・・　P. 28
4.4　投資計画　・・・・　P. 29

5　今後の成長戦略

5.1 決済ﾃﾞｰﾀ活用によるｻｰﾋﾞｽ展開　・・・・　P. 31
5.2 中長期計画　・・・・　P. 32
5.3 現状の確認と今後の事業展開　・・・・　P. 33

Copyright 2012　Billing System Corp

1　会社概要

Copyright 2012　Billing System Corp

商号

ビリングシステム株式会社
(Billing System Corporation)

設立

2000年6月

資本金

1,154百万円
(2011年12月末日現在)

事業内容

自社決済プラットフォームを基盤とした
決済業務支援サービスの提供

免許

貸金業務取扱主任者

常勤役員

代表取締役CEO	江田　敏彦
取締役CMO (営業本部長兼務)	金山　佳正
取締役CFO (管理本部長兼務)	住原　智彦
取締役CTO (システム本部長兼務)	高松　広明
常勤監査役	窪小谷　隆

監査法人

有限責任監査法人トーマツ

売上推移

(千円)

2007年	2008年	2009年	2010年	2011年
628,530	765,430	989,030	1,248,770	1,368,628

主要株主の状況(上位10名)

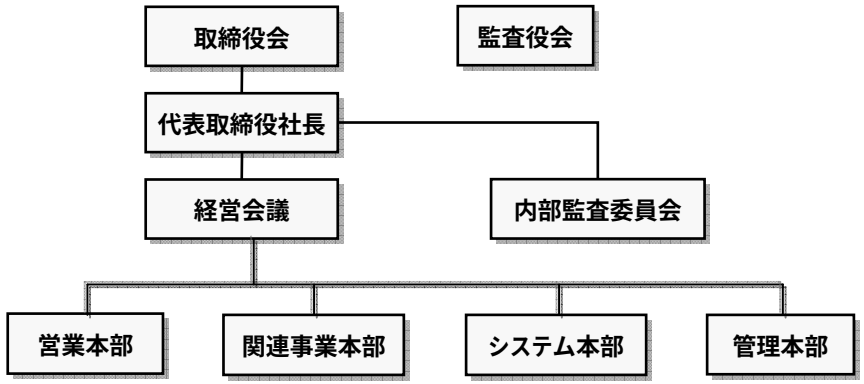
(2011年12月31日現在)

	株主名	所有株数	持株比率
1	江田敏彦	1,475	9.81%
2	ソフィアホールディングス	1,214	8.07%
3	NTTデータ	1,100	7.31%
4	窪小谷隆	821	5.46%
5	キヤノンＩＴソリューションズ	525	3.49%
6	大塚商会	500	3.32%
7	住原智彦	453	3.01%
8	柿久保　譲	427	2.84%
9	ニューフロンティアパートナーズ	311	2.06%
10	白河電子工業	310	2.06%

組織図

(自己株式475株を除いたベース)

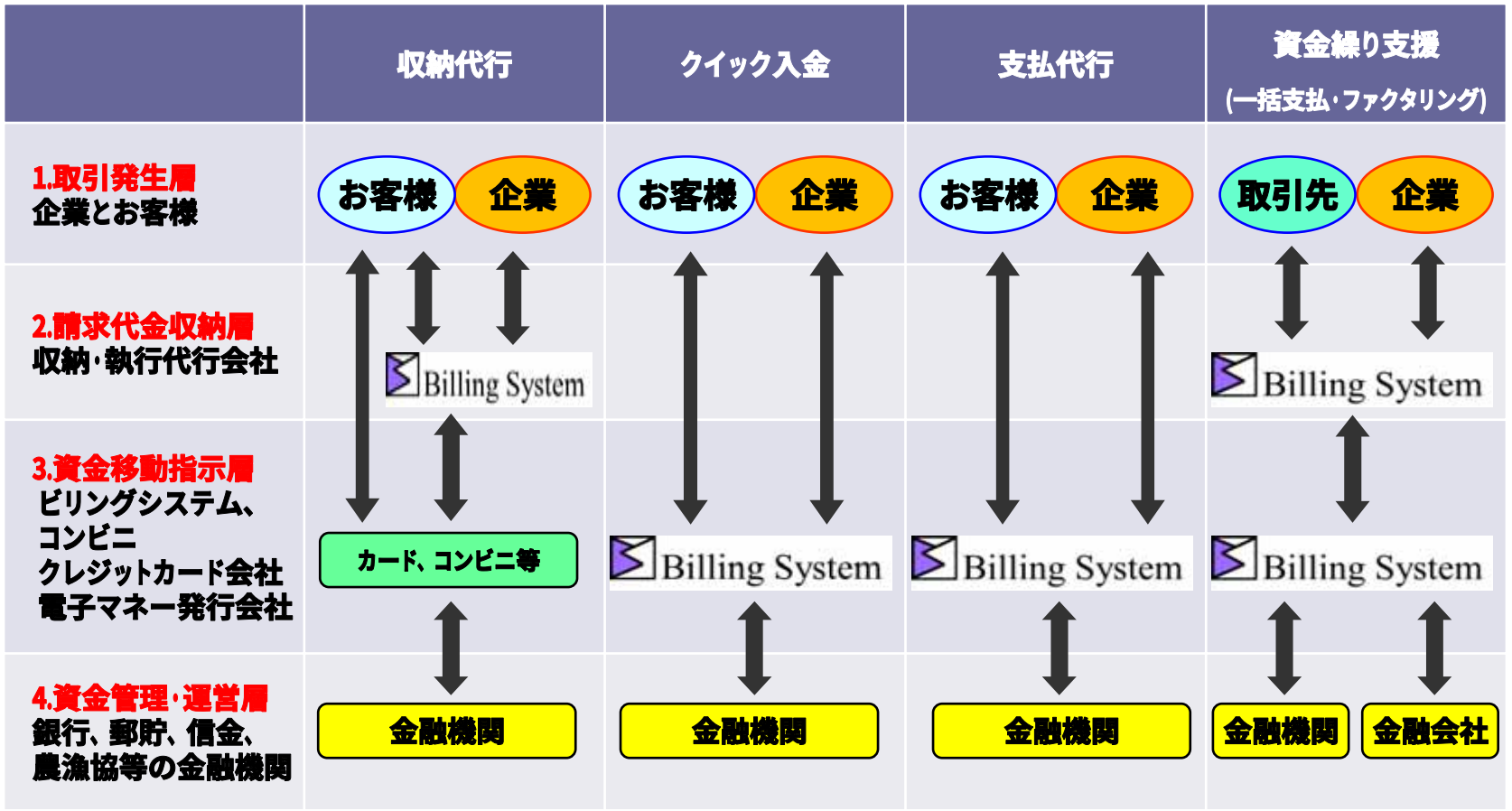
(2011年12月31日現在)



Copyright 2012　Billing System Corp

2　事業概要

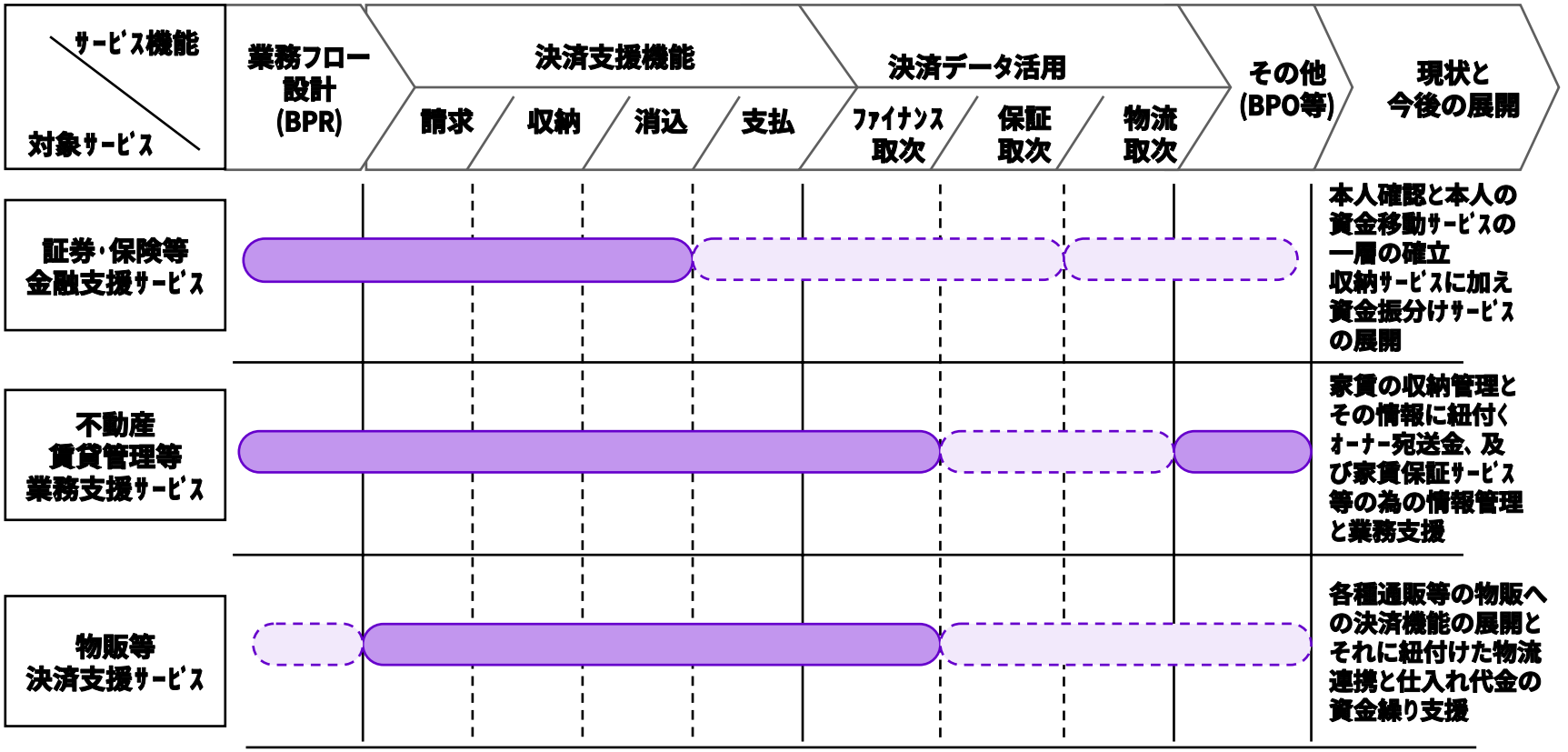
Copyright 2012　Billing System Corp



収納代行会社	○	×	×	×	×
金融会社	×	×	○	○	×
ビリングシステム	○	○	○	○	○

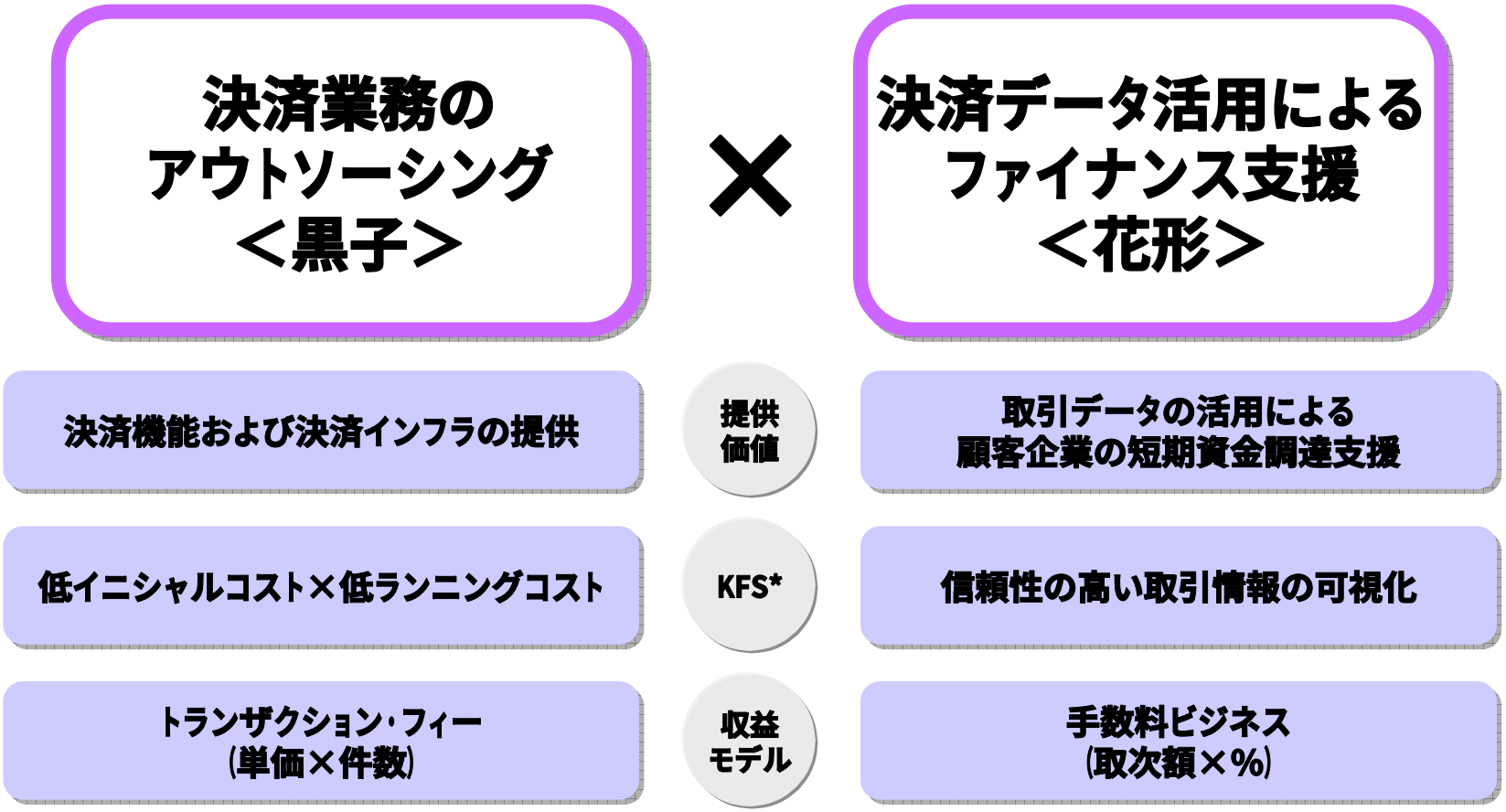
Copyright 2012　Billing System Corp

- 当社のビジネスは、顧客企業に対するBPRの提案にはじまり、決済機能代行業務、決済データを活用した各種サービスを主軸に、最終的にはビジネス・プロセス・アウトソーシングまで受託可能な決済関連業務のワンストップ・サービスを提供しており、他の決済アウトソーシング企業とは一線を画したビジネスを展開しています。



Copyright 2012　Billing System Corp

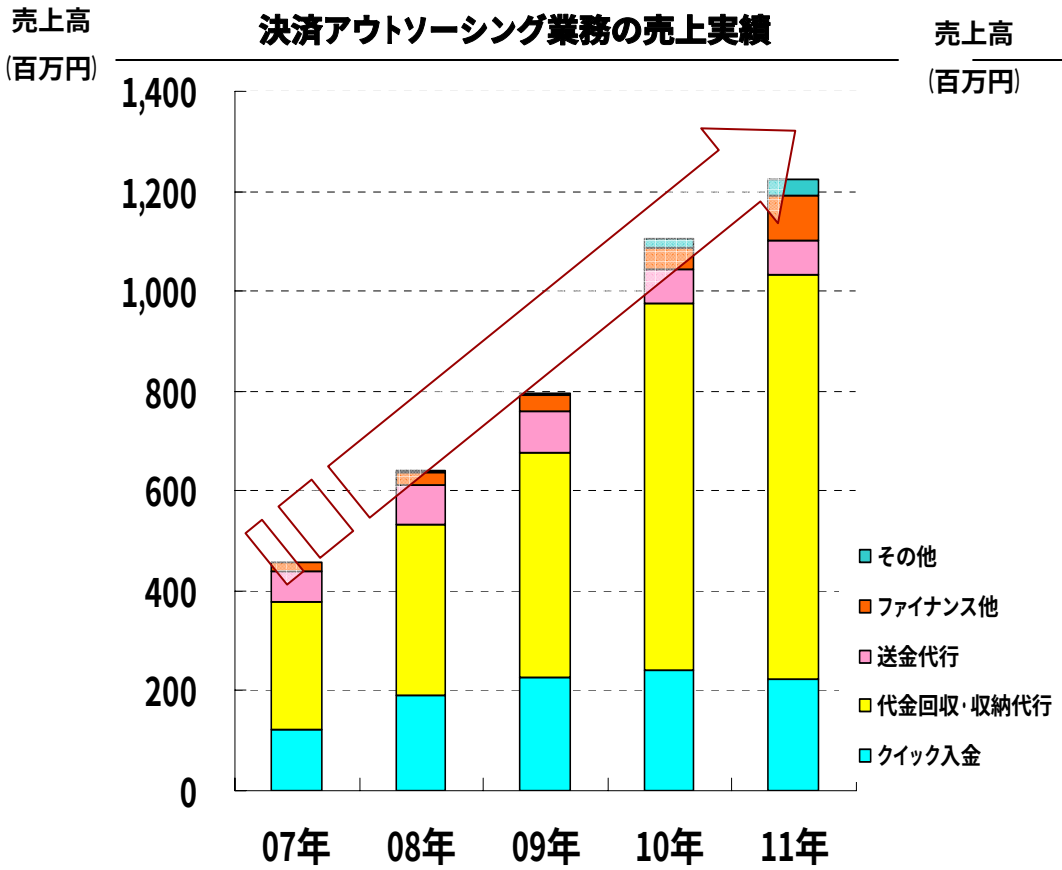
- 当社事業は、決済業務受託による収益をベースに、蓄積された決済データを分析・活用することで顧客企業のファイナンス支援（ファクタリング）から得られる手数料収入を積み上げる、「黒子と花形の掛け算」をコンセプトとしております。

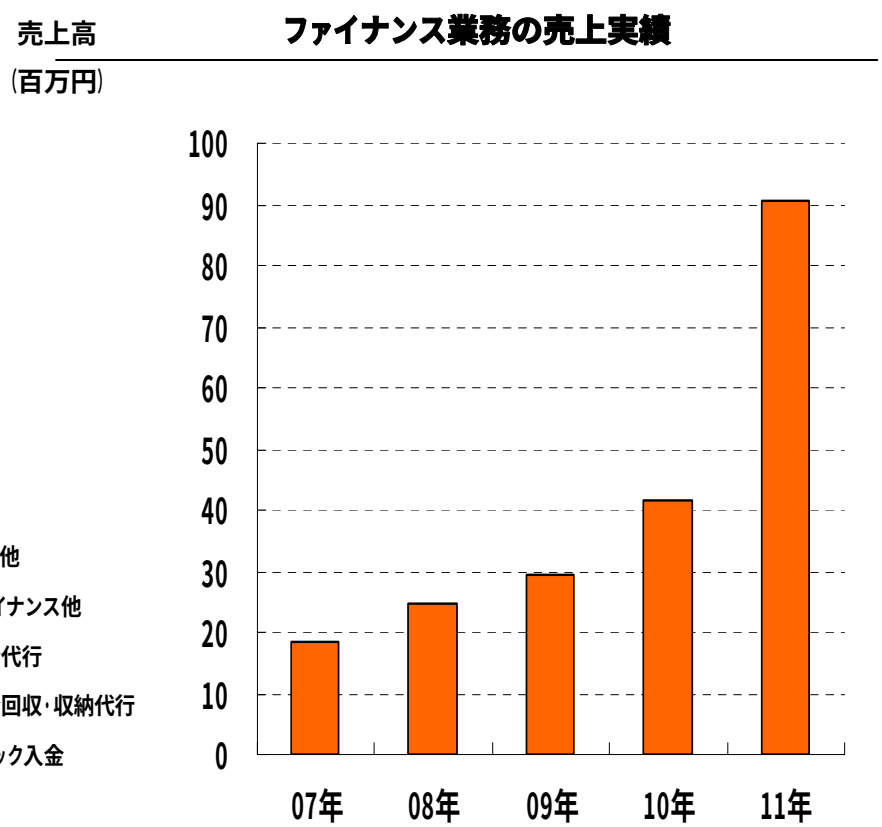


(*KFS：Key Factor(s) for Success 目標達成のために注力すべきポイント(成功要因)

Copyright 2012　Billing System Corp

- 当社の決済業務アウトソーシングは、ASPサービスの利用による導入時の低いイニシャルコストと導入後の低ランニングコストが特徴です。
- このため継続利用率が高く、顧客数、および取引件数の増加に伴い収益が伸張するビジネスモデルとなっており、下図のとおり順調に収益を積み上げております。





Copyright 2012　Billing System Corp

- 顧客企業の決済業務フローを見直し、効率的なフローを構築します。
- 弊社はこの決済データをベースに、顧客企業の業務効率の向上とともに、資金繰り支援をはじめとした資金効率の向上を推進します。

基盤となる提供サービス	サービスの概要	顧客／パートナー
証券･為替各社の証拠金収納 BtoCｻｰﾋﾞｽのOEM展開	証券会社、為替会社の証拠金収納において、顧客口座から証券口座、為替口座へのﾘｱﾙﾀｲﾑでの資金移動、入金消込み、の連携機能提供を実施。　Web、ﾓﾊﾞｲﾙでの対応も推進	松井証券、楽天証券、野村証券、その他のネット証券、為替会社、等の各社へ展開
e－Jibai　共同決済ｻｰﾋﾞｽ BtoBｻｰﾋﾞｽの展開	保険会社と代理店の間の自賠責保険料の日計集計を行い、保険料の収納を行う。決済結果はﾘｱﾙﾀｲﾑで保険会社に通知し、全国の代理店から収納した保険料は取り纏めの上、3日遅れで各保険会社の指定口座に送金する	自賠責保険の収納利用者の拡大と、自賠責以外の保険料収納の拡大 ／ 各損害保険会社
損保各社の保険料収納 BtoCｻｰﾋﾞｽの展開	損害保険会社の保険料収納において、請求書の発送から収納代行、入金消込み、を実施。　Web、ﾓﾊﾞｲﾙでの対応も推進	損保ｼﾞｬﾊﾟﾝ、三井住友海上、東京海上日動、以外の損保会社への展開
大手物流会社の 決済サービスＯＥＭ BtoCｻｰﾋﾞｽのOEM展開	大手物流会社の提供する顧客企業向けの払込票集金ｻｰﾋﾞｽの業務ﾌﾛｰを構築し、ｻｰﾋﾞｽ機能を提供･運用実施	ﾔﾏﾄ運輸の顧客の通販会社等への請求消込みｻｰﾋﾞｽの展開／ﾔﾏﾄﾌｨﾅﾝｼｬﾙ
支払代行ｻｰﾋﾞｽ	企業の仕入れ等に連携する請求情報に基づく支払業務の代行。資金管理口座の信託化実現。	大塚商会のＢＰＯｻｰﾋﾞｽ その他企業ｸﾞﾙｰﾌﾟ、等
一括支払ｻｰﾋﾞｽ	一括支払ｻｰﾋﾞｽのｼｽﾃﾑ要件定義実施、並びに、顧客ｻｲﾄﾞ（支払企業、仕入先企業）と信託銀行、ﾌｧﾝﾄﾞ提供企業、向けの業務ﾌﾛｰを構築、運用ｻﾎﾟｰﾄ実施	住友信託銀行

Copyright 2012　Billing System Corp

３　２０１１年12月期　決算概要

Copyright 2012　Billing System Corp

売上高

1,368百万円　(前期比　9.6%増)

・代金回収・収納代行、ファイナンスサービスの伸びが売上を牽引。
・スポット売上は前年並にとどまる。

営業利益

205百万円　（前期比　5.3%増）

・売上高のうち、特に、代金回収・収納代行業務の伸びが顕著であったが、一方利益率の高い
クイック入金の取扱は前年比減少。このため営業利益ベースの伸びは5.3%になった。

当期純利益

179百万円　（前期比　2.6%増）

・営業利益との差額26百万円の内訳
→　法人税11百万円、支払利息８百万円、少数株主損益5百万円

Copyright 2012　Billing System Corp

2011年3月　初配実施

一株あたり3,000円の配当（初配）を実施。
税務上の繰越欠損金解消後は、純利益の３５％程度を目処に配当を行う予定。

2011年４月　組織変更

本部制の導入により、責任体制を明確化するとともに、中期的な成長を図り営業力強化を目指すもの。
具体的には、関連事業本部の設置により、事業ドメインの拡大を図り、内部監査委員会を内部監査室に昇格し、合わせて内部管理体制の強化を狙ったもの。

2011年4月　自己株式の取得

資本効率の向上を図ると共に、機動的な資本政策の遂行を可能とする為の、所謂自社株買いを実施。

株式の総数　　475株
（発行済株式数（自己株式を除く）に対する割合　3.2％）
取得対価　　48,720,800円
取得期間　　4月1日～4月28日

Copyright 2012　Billing System Corp

2011年8月　買収防衛策導入

・事前警告型
・トリガーレート15％
・大量買付ルールを遵守しない場合、新株予約権無償割当等による対抗措置発動
・大量買付ルールを遵守する場合、取締役会による審議検討（必要に応じて独立委員会へ諮問）。
・2012年3月開催の定時株主総会で継続につき付議予定

2011年10月　日本テクノロジーFAST50に4年連続選出

・デロイト・トーマツの主催する、テクノロジー、メディア、通信業界における成長企業トップ５０に
　４年連続選出。

2011年11月　振込代行サービスの資金管理口座を信託化

・㈱大塚商会と共同で提供する中小企業向けの振込代行サービス（「たよれーる振込代行サービス」）に
　おいて、振込資金を受領してから振込が実行されるまでの間に存在する信用リスクを極小化するため、
　三井住友銀行との信託契約を締結、資金管理口座の信託化を実現。

Copyright 2012　Billing System Corp

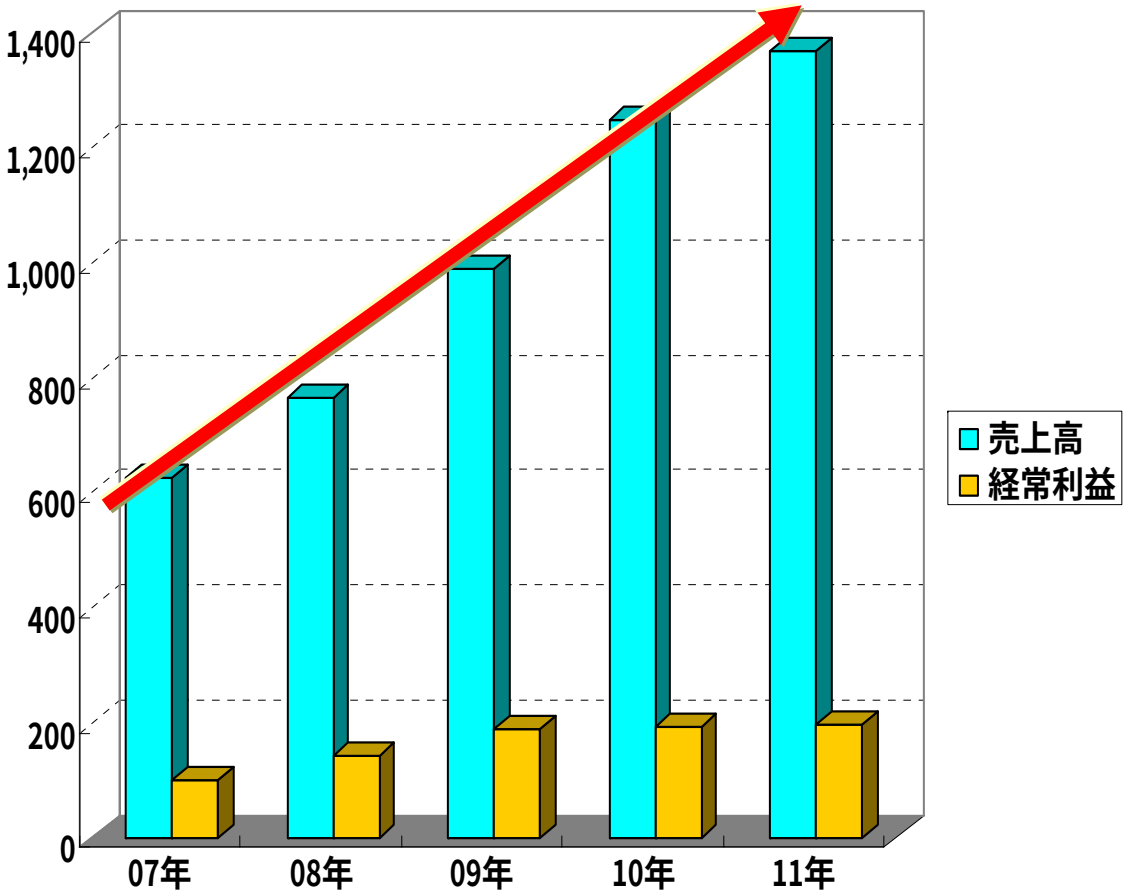
単位：千円

2010年12月期より連結ベース

	2010年12月期		2011年12月			
	金額	構成比	金額	構成比	前期比	計画比
売上高	1,248,770	100.0%	1,368,628	100.0%	9.6%	-1.3%
売上総利益	527,237	42.2%	563,365	41.2%	6.9%	-2.7%
営業利益	195,558	15.7%	205,850	15.0%	5.3%	-11.5%
経常利益	194,004	15.5%	199,252	14.6%	2.7%	-8.6%
当期純利益	174,907	14.0%	179,435	13.1%	2.6%	-13.5%
EPS	11,282円16銭	-	11,827円54銭	-	33.4%	-

Copyright 2012　Billing System Corp

単位：百万円



Points

・売上高は、業務受託売上の堅調な伸びに支えられ、順調に拡大中。

・売上高のうち、特に、代金回収・収納代行業務の伸びが顕著。

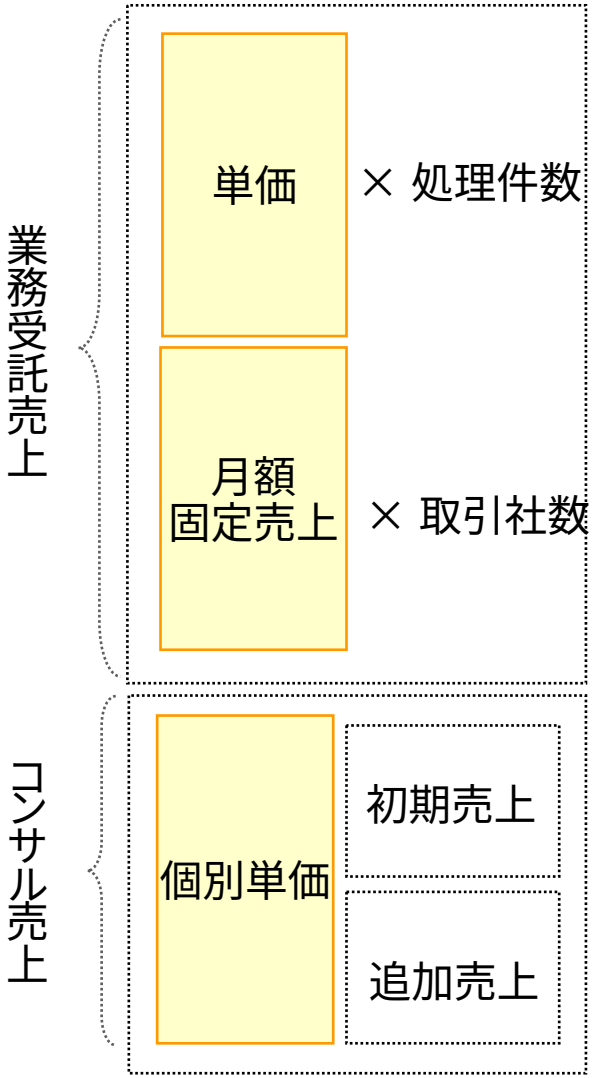
・一方利益率の高いクイック入金は11年は前年比減少。

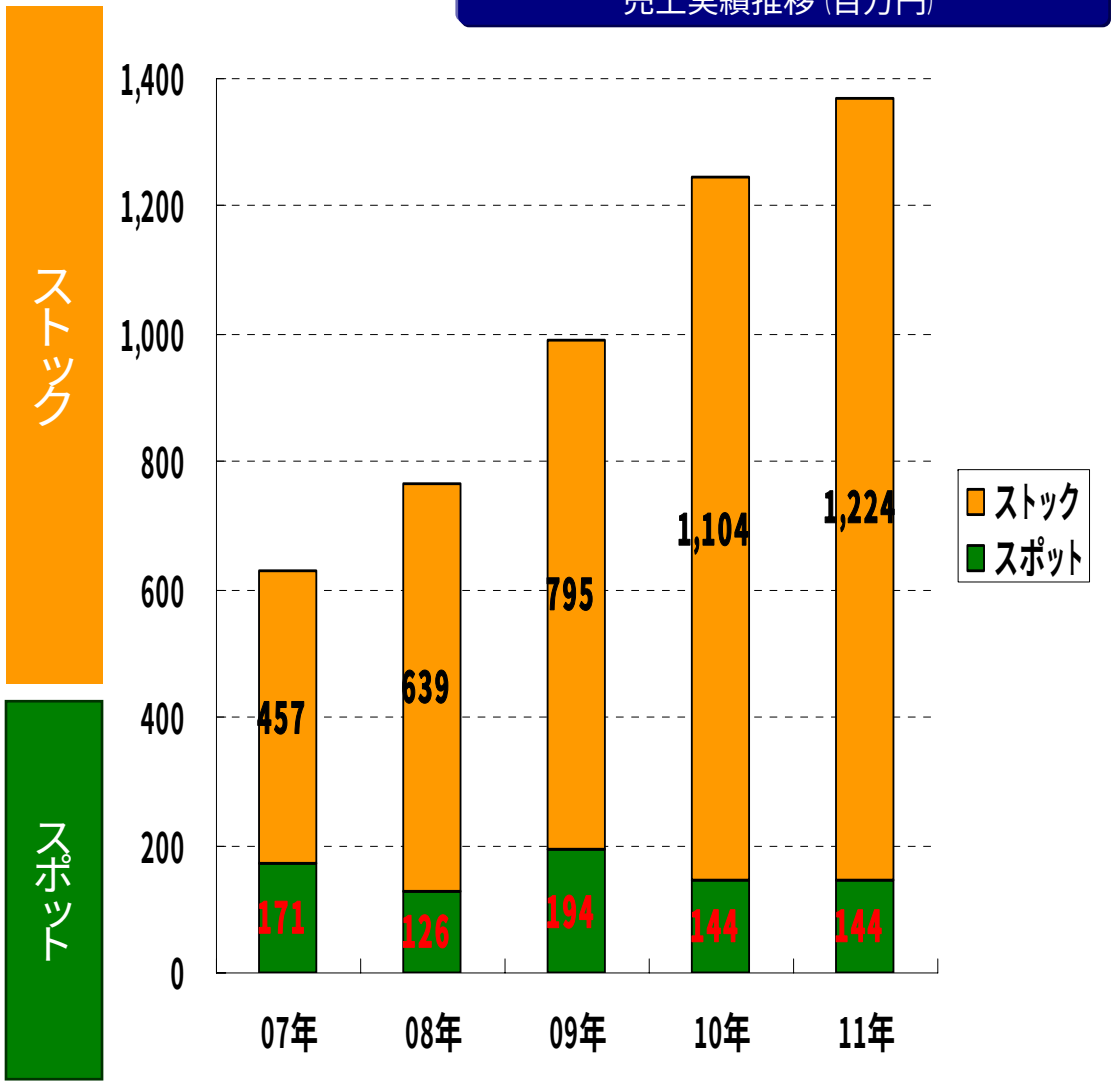
・このため、経常利益は微増にとどまる。

Copyright 2012　Billing System Corp

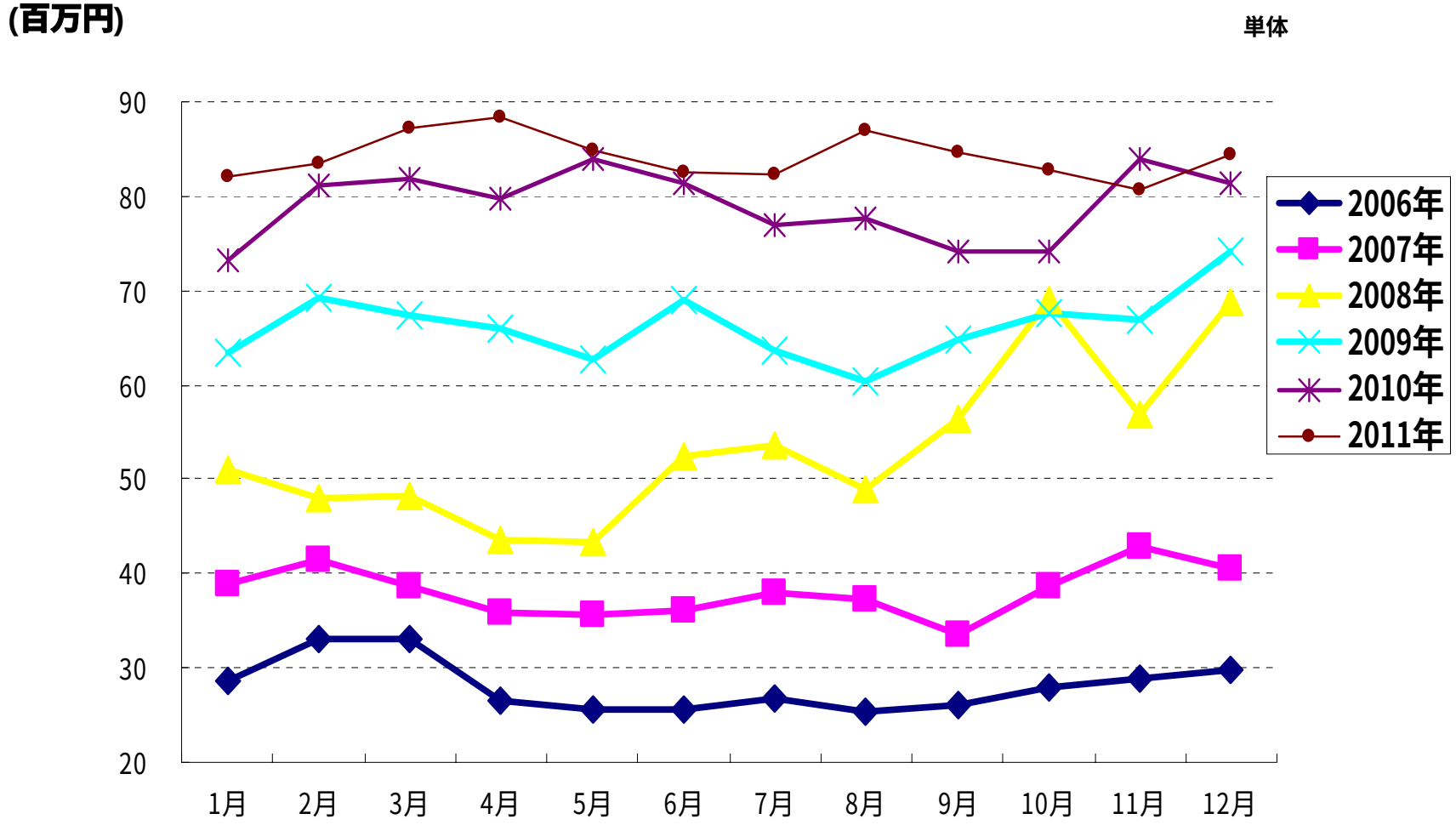
Billing System

業務受託（ストック）積上が基本





Copyright 2012　Billing System Corp



Copyright 2012　Billing System Corp

Billing System

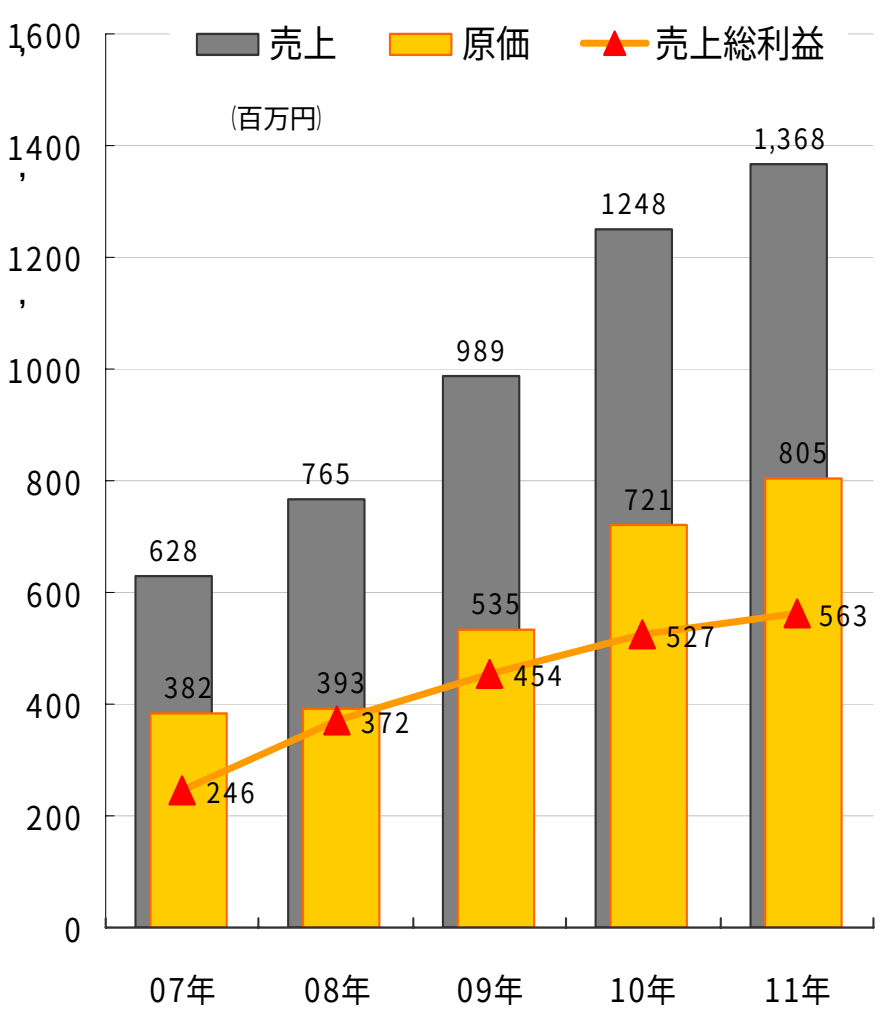
単位:百万円

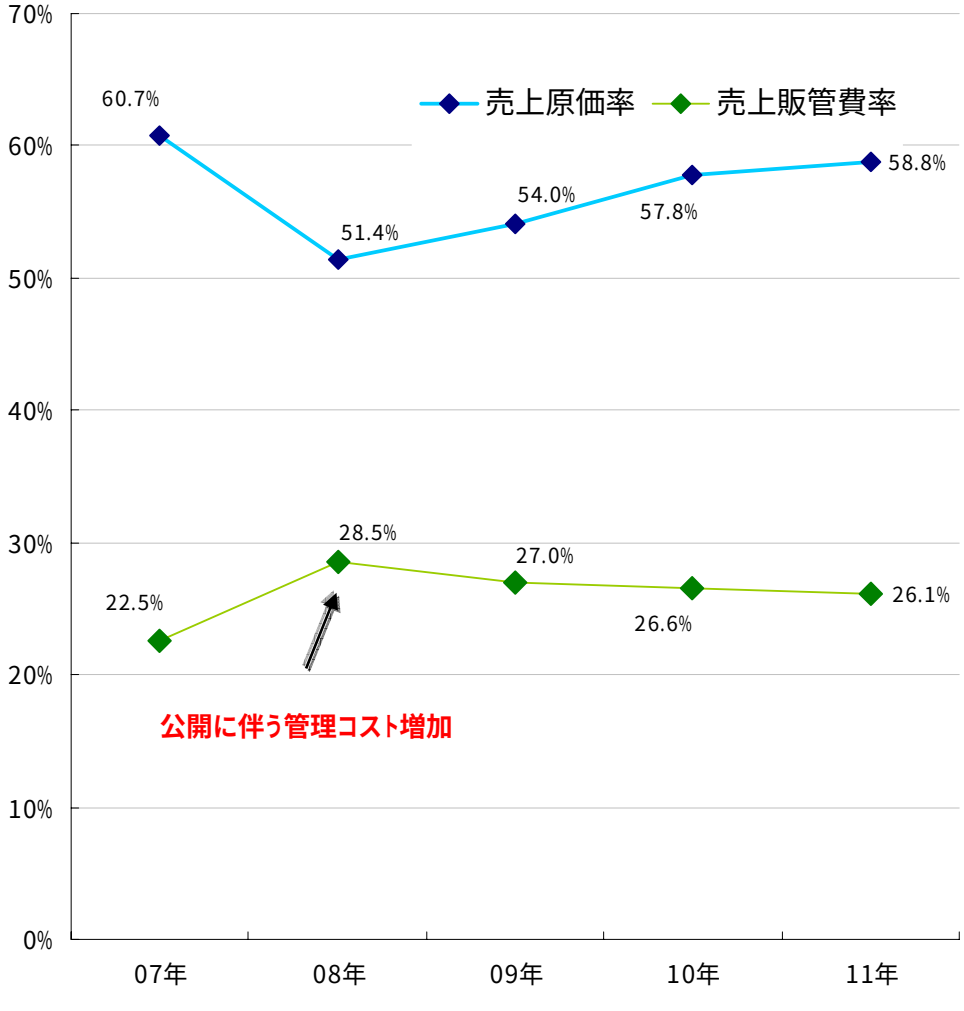
		2007年	2008年	2009年	2010年 連結	2011年 連結
クイック入金	業務受託	123	189	226	242	224
	コンサル・スポット	37	59	59	30	29
	合計	160	248	285	272	253
代金回収・収納代行	業務受託	254	342	450	732	810
	コンサル・スポット	34	17	80	13	18
	合計	288	359	531	745	828
送金代行	業務受託	62	82	84	70	66
	コンサル・スポット	5	7	1	2	1
	合計	66	89	86	72	67
ファイナンス他	業務受託	18	25	30	42	91
	コンサル・スポット	94	42	53	45	87
	合計	113	66	82	87	177
その他	業務受託	2	2	4	18	33
	コンサル・スポット	0	2	1	55	9
	合計	2	4	5	73	43
合計	業務受託	458	640	795	1,104	1,224
	コンサル・スポット	170	125	194	145	144
	合計	629	765	989	1,249	1,369

Copyright 2012　Billing System Corp

Billing System

収納代行の増加により原価率増加、これに対し販管費率は減少



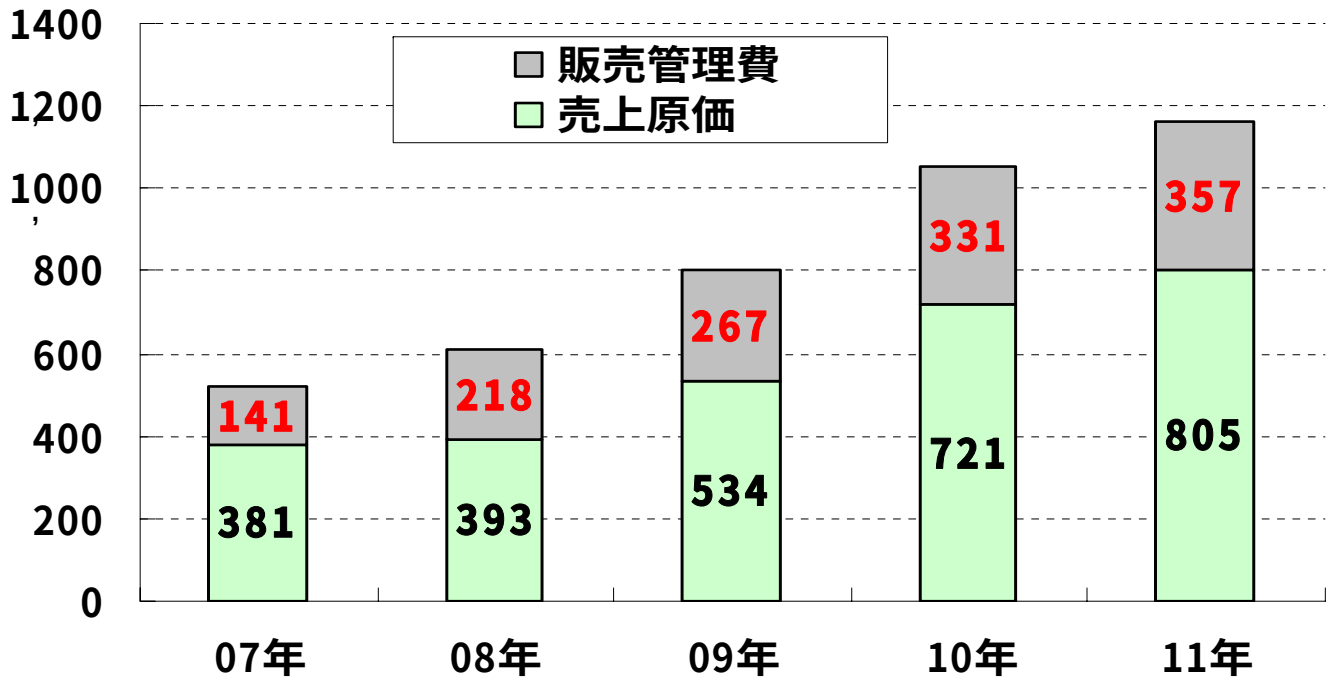


Copyright 2012　Billing System Corp

Billing System

単位：百万円

	07年	08年	09年	10年	11年
売上原価	381	393	534	721	805
販売管理費	141	218	267	331	357



Copyright 2012　Billing System Corp

Billing System

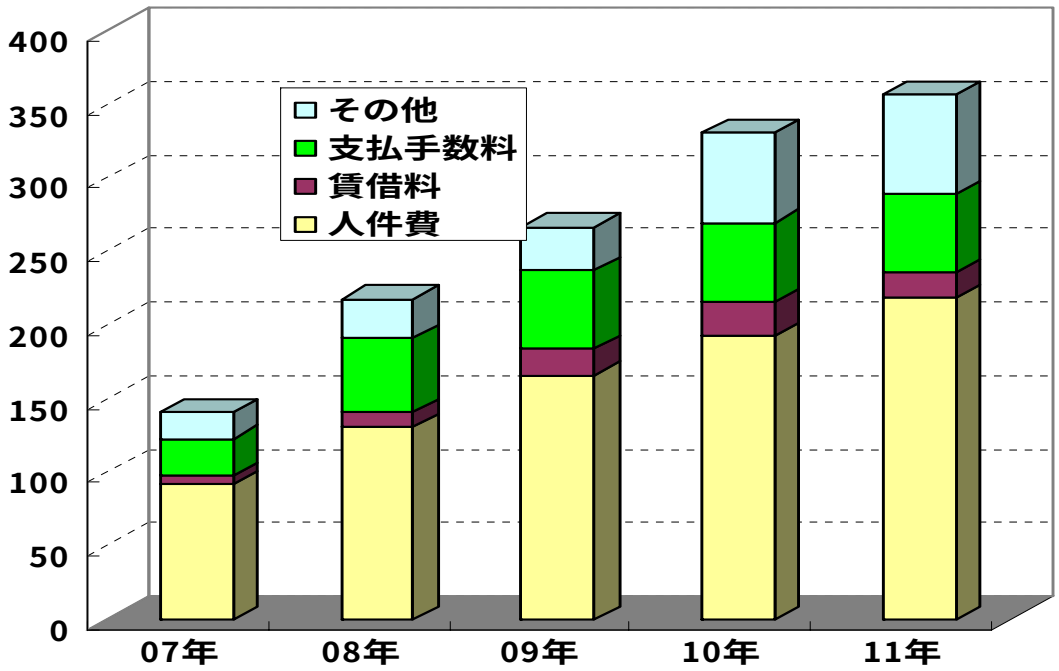
販売管理費実績推移（百万円）

	07年	08年	09年	10年	11年
人件費	92	131	166	200	225
賃借料	6	10	18	23	17
支払手数料	25	50	53	54	53
その他	18	27	30	54	62
合計	141	218	267	331	357

3名増員（うち1名は役員）

10年11月オフィス移転により賃料削減

旅費+5百万円、減価償却費+1百万円
顧問費+1百万円



Copyright 2012　Billing System Corp

単位：千円

	2010年12月期		2011年12月期		
	金額	構成比	金額	構成比	増減率
流動資産	4,837,431	97.3%	5,616,844	97.2%	16.1%
固定資産	132,097	2.7%	164,280	2.8%	24.4%
資産合計	4,969,528	100.0%	5,781,124	100.0%	16.3%
流動負債	3,436,300	69.1%	4,041,913	69.9%	17.6%
固定負債	0	0.0%	116,346	2.0%	-
負債合計	3,436,300	69.1%	4,158,260	71.9%	21.0%
純資産合計	1,533,228	30.9%	1,622,864	28.1%	5.8%
負債純資産合計	4,969,528	100.0%	5,781,124	100.0%	16.3%

Copyright 2012　Billing System Corp

単位：千円

	2010年12月期	2011年12月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 5,510	△ 343,627
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,948,564	△ 55,776
フリーキャッシュ・フロー	1,943,054	△ 399,403
財務活動によるキャッシュ・フロー	163,316	349,498
現金及び現金同等物の増減額	2,106,369	△ 49,905
現金及び現金同等物の期首残高	1,291,881	3,398,251
現金及び現金同等物の期末残高	3,398,251	3,348,346

減少要因として
買取債権増加502,761**千円、**
売掛債権増加160，801**千円、**
増加要因として
当期純利益196,305**千円**

有価証券取得50,000**千円**

短期借入金の増加302,000**千円**
長期借入金の増加
150,000**千円**
配当金支払
48,720**千円**

Copyright 2012　Billing System Corp

４　２０１２年１２月期計画

Copyright 2012　Billing System Corp

■ 2012年12月期の業績見込み

通期売上高1,621百万円、営業利益238百万円、経常利益234百万円、
当期純利益136百万円、期末配当3,000円

■ 主要施策

√ 基幹ビジネス
- 収納代行の地道な事業展開を図ります。
- 2011年11月より資金管理口座を信託化した支払代行業務の強化を図ります。

√ システムの自営化
- これまで他社の機能を使っていたPay-easy通信共同利用センターの接続を自営化し、機動性・安全性を強化すると共に、中期的にコストの削減を図ります。

√ ファイナンスサービス
- ファイナンスサービスは、過去３年間の売上が２倍に拡大してますが、更なる拡大に向け、自らのアセットを使用しないファイナンス取次業務の拡大展開を図ります。

Copyright 2012　Billing System Corp

１.決済取次ビジネスにおける競争力強化と事業拡大

・クイック入金はレバレッジ規制の影響によりやや減少する見込みです。しかし、新規顧客の獲得等により確固たる基盤をキープし、売上を確保してまいります。

・代金回収・収納代行は、損保業界の再編等もあり、商機は拡大。人員の増強により営業強化を図ります。
また、クレジットカード決済機能をはじめとした基本機能の改善を図り、競争力を確保してまいります。

・支払サポート業務については、新しい収益の柱の一つと位置付け、営業戦力を増強してまいります。

・当社の機能の補強となる案件、当社の機能を活用して売込みができるマーケット基盤を持っている案件等積極的にＭ＆Ａを検討いたします。

２．ファイナンス事業の拡大とモデルの転換

・これまで当社のアセットを使って行っていた前払いを、ファイナンスカンパニー等と連携を図り、オフバランス化を図ってまいります。

・当社のファイナンス事業を、アセットマネジメント型を中心とした事業に展開するよう計画しております。

・このため事業全体で人員を増強し、業務・リスク管理体制の強化を行います。

３．システム部門の役割

・システム部員の一部をフロントに近付け、これまで見落としていたかもしれない顧客のシステムに関するニーズを積極的に拾い上げ、テクニカルサポートのみならず新規提案をできるような体制を構築してまいります。

Copyright 2012　Billing System Corp

４.国内新規ビジネスの推進（中期計画）

・医療や環境という有望分野において決済業務との連携を目指し、業務提携、Ｍ＆Ａも視野に入れ積極的に事業投資を行ってまいります。

５.海外事業展開（中期計画）

・中小企業が海外（中国）市場に進出できるよう、決済、物流等ワンストップで利用できる仕組みの構築を目指します。

・このため、当社は、社団法人世界貿易センターが主導する「産業・技術 海外展開支援協議会」の取組に参画し、協議会の発展に伴う決済ビジネスの獲得を目指します。

Copyright 2012　Billing System Corp

Billing System

単位：千円

	2011年12月期		2012年12月期		
	実績	前期比	第2四半期計画	通期計画	前期比
売上高	1,368,628	9.6%	799,872	1,621,114	18.4%
売上総利益	563,365	6.9%	328,050	685,348	21.7%
営業利益	205,850	5.3%	114,631	238,846	16.0%
経常利益	199,252	2.7%	112,413	234,351	17.6%
当期純利益	179,435	2.6%	60,061	136,055	-24.2%

法人税及び法人税等調整額92百万円

POINTS

・当社の基盤ビジネスである決済サービスの基盤の拡充。
　特に、収納代行、支払サポートサービスの拡大。
・将来の収益に結びつく周辺ビジネスへの取組み。
・税務上の繰越欠損金解消の見込み

Copyright 2012　Billing System Corp

設備投資

ハード	7.2百万円	(ネットワーク強化、ＤＢ基盤強化)
ソフト	72百万円	(マルチペイメント共同利用センターの自営化)
	114百万円	(案件対応、社内管理システム)

人員増強

営業関係　+6名

業務関係　+2名

その他システム、管理部門でも増強を検討

Copyright 2012　Billing System Corp

5　今後の成長戦略

Copyright 2012　Billing System Corp

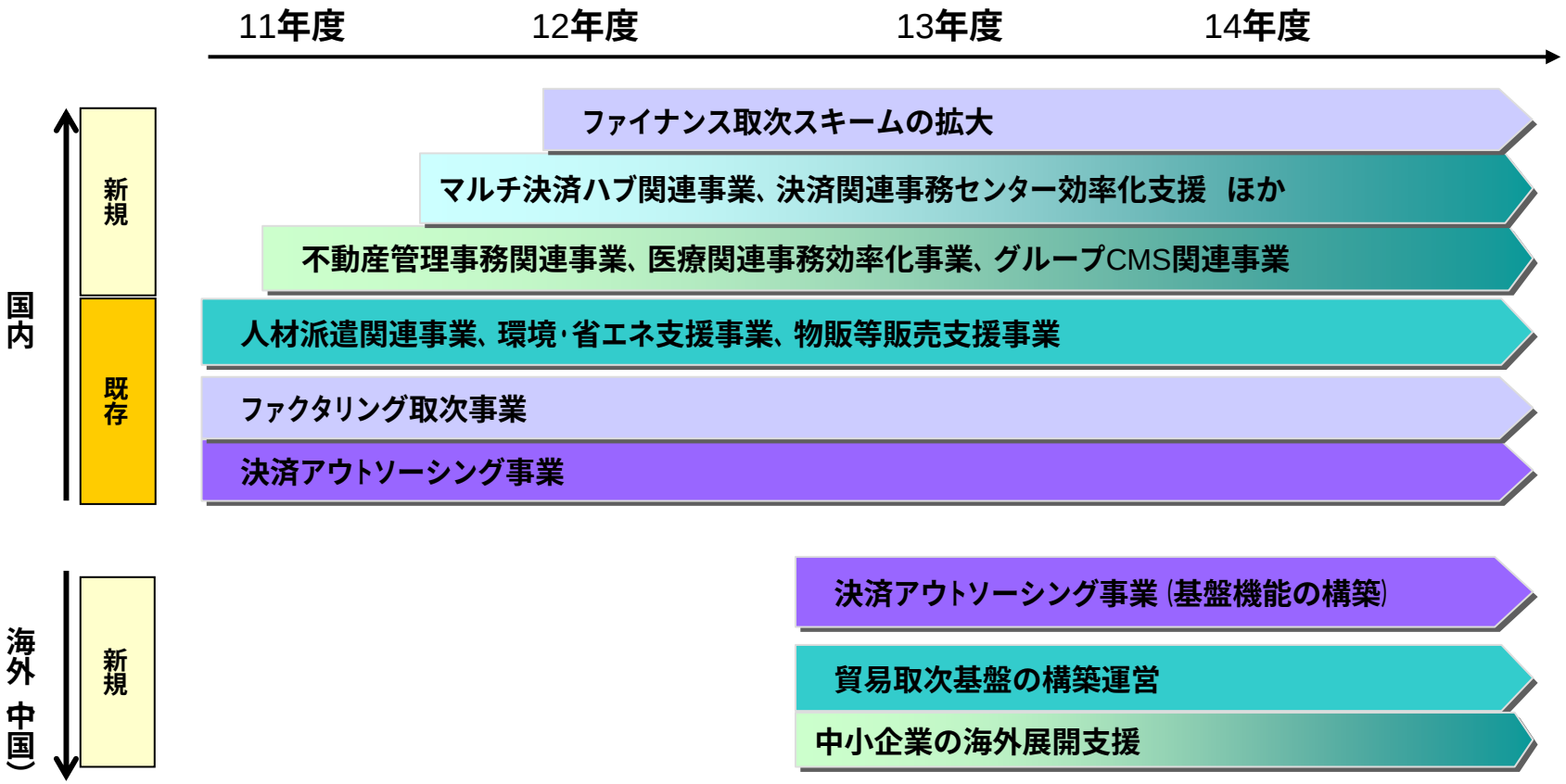
- 顧客企業が弊社の決済インフラを利用することで蓄積される決済データは、商取引に裏打ちされた極めて正確性・信頼性の高い顧客のキャッシュフロー情報となります。
- 弊社の決済支援、資金繰り支援による顧客企業の決済業務フローの改善を通し、各種事業フローの効率化も図れます。

提供サービス	サービスの概要	顧客／パートナー
不動産賃貸管理業務 支援ｻｰﾋﾞｽ	家賃収納データをﾍﾞｰｽにｵｰﾅｰ宛送金の早期化と家賃保証ｻｰﾋﾞｽの運用管理を支援	不動産管理会社 家賃保証会社
CO2算定、利用ｴﾈﾙｷﾞｰ 削減支援ｻｰﾋﾞｽ	各種資源の利用料請求データを基に排出するCO2を分析･算出しｴﾈﾙｷﾞｰ削減策の導入と削減効果を排出権取引等に転嫁を支援	大手旅行代理店
各種郵便料金の 効率化支援ｻｰﾋﾞｽ	請求業務の効率化支援に伴う郵便請求の見直し、及び、郵便料金の削減策の推進	保険会社、証券会社 通販会社、等
物販バリューチェーン 短縮化事業支援	各種生産者と最終顧客を直結させるバリューチェーンを構築、取引にかかる決済業務および資金繰りを支援	各種メーカー 物流事業者
中小病院事務手続支援	支払代行、患者への請求代行、および診療報酬審査請求代金精算にかかるファクタリング、ならびに省エネ関連対応の取次	中小病院
企業の決済業務代行	企業の業務受発注から連携する請求代行、支払サポート、ならびに一括支払の対応	総合ﾚｼﾞｬｰ開発企業（準備中）、 建設機器企業ｸﾞﾙｰﾌﾟ

既進出領域　進出予定領域　現在準備中領域

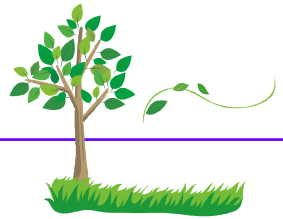
Copyright 2012　Billing System Corp

- BPO業務に関連する投資はパートナー企業との共同出資等により投資額を一定範囲に抑制し、自走式のビジネスモデルをより強固なものとする計画です。



Copyright 2012　Billing System Corp

Billing System







【第３戦略】　総合決済情報産業の創造
決済業務・与信業務支援ビジネスの拡大と
この情報に基づく企業情報ビジネスの展開

- 決済業務とキャッシュフローの総合支援ＢＰＯビジネスの展開
- 中国･東南アジアへの決済業務支援ビジネス展開
- 商流･物流･金流情報の総合管理による企業情報ビジネスの展開
- 資金ネッティングし、為替と連動するグローバルサービスの展開





【第２戦略】　与信業務支援市場への展開
回収・支払情報に基づく資金繰支援機能展開

- 与信取次ソリューションの決済情報プラットフォームへの組込
- ファクタリングビジネスの展開･拡大

【第１戦略】　決済業務支援市場の確立
現金決済業務でのデファクトインフラ構築

- 現金決済マーケットでの業界共通ソリューションの開発・提供
- 決済情報プラットフォームの構築とＡＳＰサービスの提供
- 大手事業者との業務提携

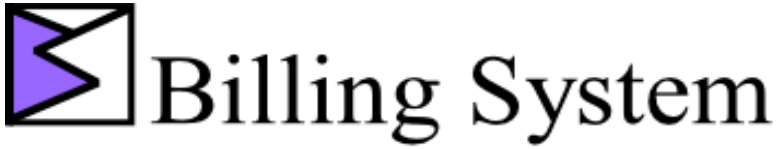




創業：一つの芽 → 上場 2008/3 - - - 現在 - - - → 豊かな森

Copyright 2012　Billing System Corp

ご清聴ありがとうございました。



本資料で記述している将来予測および業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。
そのため、様々な要因の変化により実際の業績は記述している将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることを御承知おき下さい。

IRお問い合わせ先
ビリングシステム株式会社 電話03-5501-4400
toiawase@e.billingjapan.co.jp

Copyright 2012 Billing System Corp